

みんなでつくる田名の会 第8回企画会議 議事概要

日 時：平成18年10月12日（木） 午後7時～午後8時30分

会 場：田名公民館 1階和室

1 情報紙の発行について

- ・みんなでつくる田名の会情報紙「みんな」(第1号)が完成し、各自治会宛に送付する。(10月13日発送予定)
- ・みんなでつくる田名の会への意見・要望を寄せてもらうために、鍵付きの意見箱を作成し、公民館窓口に設置された。

2 第3回全体会の情報・意見交換について

- 第3回全体会で参加者からだされた意見・情報を、「知識・情報」、「意識」、「組織・人材」、「備品」、「場所」の項目別に分類し、議論を行った。
- ・災害時に迅速、広範な救助活動が行えるようにいくつかの地元企業と救助協定を締結しておくことが必要である。また、実際にそれらの知識を住民にももってもらうことが求められる。
 - ・井戸水、湧き水が災害時の飲み水として可能なかどうか、水質検査を実施してほしい。
 - ・井戸水の水質検査依頼については、保健所で1万円弱の費用負担で、1週間ほどの日数で結果がでるとのことである。再度市で細かく確認した上で、今後各自治会で必要に応じて依頼できるような情報の提供・共有を行っていくこととなった。
 - ・住環境によっては、災害時に避難所プールにあるろ過機を利用して飲み水を確保するということが困難な場合もある。(家から至近距離で水を確保する必要がある)
災害時に簡易に水を浄水、ろ過し飲み水にできる方法はないか、ということに関し検討の必要がある。

3 防災に関する地域の課題への対応策について

- ・来年度については、企画会議でだされた意見・考えを提示する場として、全体会のみにとらわれずに防災対策や地震対策などを教授できるフォーラムのようなものを開催できたらよいのではないか。
- ・震災時に一番重要なのは、「人命救助」であり、食糧や衣類の確保はそのあとの検討事項である。震災時にとるべき行動における優先順位、重要度ということに関しての同じ認識を全員が共有することが大事である。
- ・災害(震災)時にとるべき行動や備えておくべき知識についてのランク付けを行い、資料化することが必要である。
- ・ランク付けを住民自らできること、行政と協力して行うべきこと、といった視点から切り分けてもよいのではないか。
- ・「ろ過したからといって小学校のプールの貯水は本当に安全なのか」など、多くの人不安に思う内容についての意識改革、災害時にパニックを起こさせないための意識・知識の植付けなど、より身近なところから啓発活動をすることも求められるのではないのか。

4 役割分担について

- ・企画会議で発言された課題や意見を、次回全体会までに精査しまとめるための防災対策ワーキンググループと広報紙の編集に携わるワーキンググループの設置が提案され、それぞれメンバーが選任された。

5 その他

- ・11月22日(水)に開催の次回全体会前に企画会議を次の日程で行う
日時：11月10日(金) 19時から
場所：田名公民館 小会議室

以 上